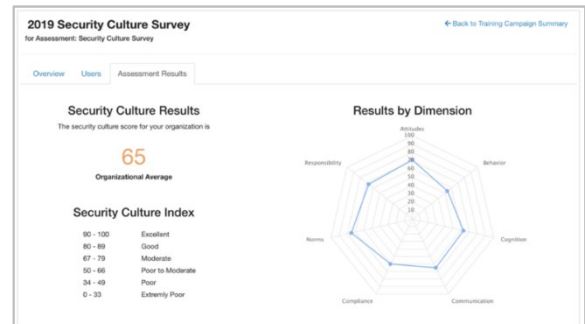


2020年1月16日
 株式会社東陽テクニカ

～“Emotet”への感染を狙う攻撃メール対策に～
セキュリティ意識向上トレーニング&フィッシングシミュレーション「KnowBe4」、
組織や個人のセキュリティ意識をスコアで評価する新機能をリリース
組織全体の強み、弱みを可視化し、セキュリティ意識を強化

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝)は、KnowBe4, Inc.(本社：米国・フロリダ州)が提供するセキュリティ意識向上トレーニング&フィッシングシミュレーション「KnowBe4(ノウビーフォー)」の新たな機能として、組織全体および従業員個人のセキュリティ意識を評価しスコア化する「アセスメント機能」を、2020年1月17日にリリースいたします。

また、リリースを記念して「KnowBe4」の“無償 PoC 提供キャンペーン”を実施いたします(キャンペーン実施期間：2020年2月14日まで)。



「KnowBe4」アセスメントサービスの評価結果イメージ

(左：セキュリティ意識レベルの実力評価、右：セキュリティカルチャー評価)

【 背景・概要 】

「KnowBe4」は、組織内部へ向け模擬的なフィッシング攻撃を仕掛け、結果から組織全体および従業員個人のセキュリティに対するリスクレベルを判断し、最適なオンライン教育プログラムを自動で提案するサービスです。フィッシングシミュレーションから、結果を踏まえたセキュリティ意識向上トレーニングまでをワンストップで提供できるのが特長です。

2019年12月、“Emotet(エモテット)”と呼ばれる個人情報の窃取を目的としたマルウェアへの感染を狙った標的型攻撃メール(スパフィッシング)が出回り、被害が広がりました。このような標的型攻撃メールの成功率は一般に高く、例えば企業がメールフィルターなどの各種セキュリティシステムを導入していても、攻撃メールの16%程度はシステムによる防御をすり抜け従業員に届いてしまいます^{*}。そのため、最終的に被害を防ぐことができるかどうかは、従業員一人一人のセキュリティ意識レベルに依存することになります。

この度リリースする「アセスメント機能」は、セキュリティ意識レベルだけでなく組織におけるセキュリティカルチャー（組織のセキュリティに影響を与える考え方、習慣、社会的行動）を7つのカテゴリーに分類し、その評価をスコアで可視化します。これにより従業員個人、さらには組織全体のセキュリティ意識レベルの強みと弱みを洞察し、「KnowBe4」のセキュリティ教育コンテンツを組織全体で適切に受講できるようにします。そしてセキュリティ意識レベルと知識を向上させ、“Emotet”への感染を狙うようなスパフィッシング対策（予防）の実現に貢献します。

※ KnowBe4 社調べ

【「KnowBe4 アセスメント」の主な特長】

1. セキュリティ意識レベルの実力評価（Security Awareness Proficiency Assessment : SAPA）

- ・全従業員を対象にセキュリティ意識レベルを評価（アンケート形式、23問）
- ・評価の結果は、組織の強みと弱みに分けて提供（サマリー分析レポート）

結果に応じて個人単位で抱える課題に絞ったセキュリティ教育カリキュラムを立案。

2. セキュリティカルチャー評価（Security Culture Assessment : SCA）

- ・組織全体のセキュリティカルチャーを評価
- ・評価の結果を全体および、7つのカテゴリーごとに提供

結果を活用してセキュリティカルチャーのベースラインを確立し、セキュリティカルチャーの変化・進化に追従しながらセキュリティ教育カリキュラムを立案。

【“無償 PoC 提供キャンペーン”概要】

■ 期間：2020年1月17日から2月14日まで（PoCの実施期間は2週間）

■ 定員：先着10社（各社25ユーザまで）

■ キャンペーン内容：以下内容のPoCを無償でご利用いただけます

- ① 「KnowBe4」アセスメント機能の実施
- ② KnowBe4社から提供される1,000種類以上の教育コンテンツ（日本語対応：90種類以上）による、セキュリティ意識向上トレーニングの実施
- ③ ビジネス詐欺メール（フィッシングメール/標的型攻撃メール/ソーシャルエンジニアリングメール）訓練の実施
- ④ 現状把握、分析、効果を数字で可視化（レポートング）

▼ キャンペーン申込ページ：

https://www.toyo.co.jp/ict/contacts/detail/knowbe4-campaign_poc

<KnowBe4, Inc.について>

KnowBe4社は2010年8月に設立され、米国のフロリダ州に本社を構える世界最大級のセキュリティ教育ソリューションベンダーです。ハッキングに関する知見において世界でもトップクラスの人物であるKevin Mitnick氏がCHO(Chief Hacking Officer)を務めています。2018年に、注目を集める革新的なサイバーセキュリティ企業を評価する「Cybersecurity 500(Cybersecurity Ventures社)」で第2位にランクインし、2019年にはGartner社の“Magic Quadrant”で最高評価を獲得するなど高い評価を得ています。従業員数も900人を超え、今急成長している企業です。

KnowBe4 Web サイト：<https://www.knowbe4.jp/>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは1953年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC(電磁両立性)試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、ライフサイエンスなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。また、5G(第5世代移動通信システム)ネットワークの構築支援、サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI(人工知能)を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

TEL : 03-3245-1250 (直通) E-mail : ict_security@toyo.co.jp

セキュリティ意識向上トレーニング&フィッシングシミュレーション「KnowBe4」サイト :
<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/knowbe4-cbt.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。